

自由課題: チーム介入症例における到達目標共有の現状把握
 (平成29年7月1日～12月末日)

施設名	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
20 大阪府済生会吹田病院	70%	・チーム介入症例における依頼元の医療従事者とチームメンバー間での到達目標共有の割合を増やす(緩和ケアチームセルフケアチェックにおける目標到達度について: おおむねできているとの回答が64% 70%) ・できなかった場合の理由について再度、セルフケアチェックシートで分析	70% チーム内でのカンファレンスと回診を週1回定期的に開催し、チームメンバー間、および依頼元の医療従事者とチームメンバーの間で問題点・目標を共有することができると感じることができるようになってきた。	さらに病棟スタッフや主治医と話しあう機会を積極的に持ち、院内メールや電子カルテの様式を活用して、最新の情報をつねにチームメンバーで共有できるように努めていく。